

第4回 蓄電池産業戦略推進会議発表資料

# 電池エコシステム構築に向けて (資源確保、設備、日本版バッテリーパスポート)

2025年 3月 12日  
電池サプライチェーン協議会

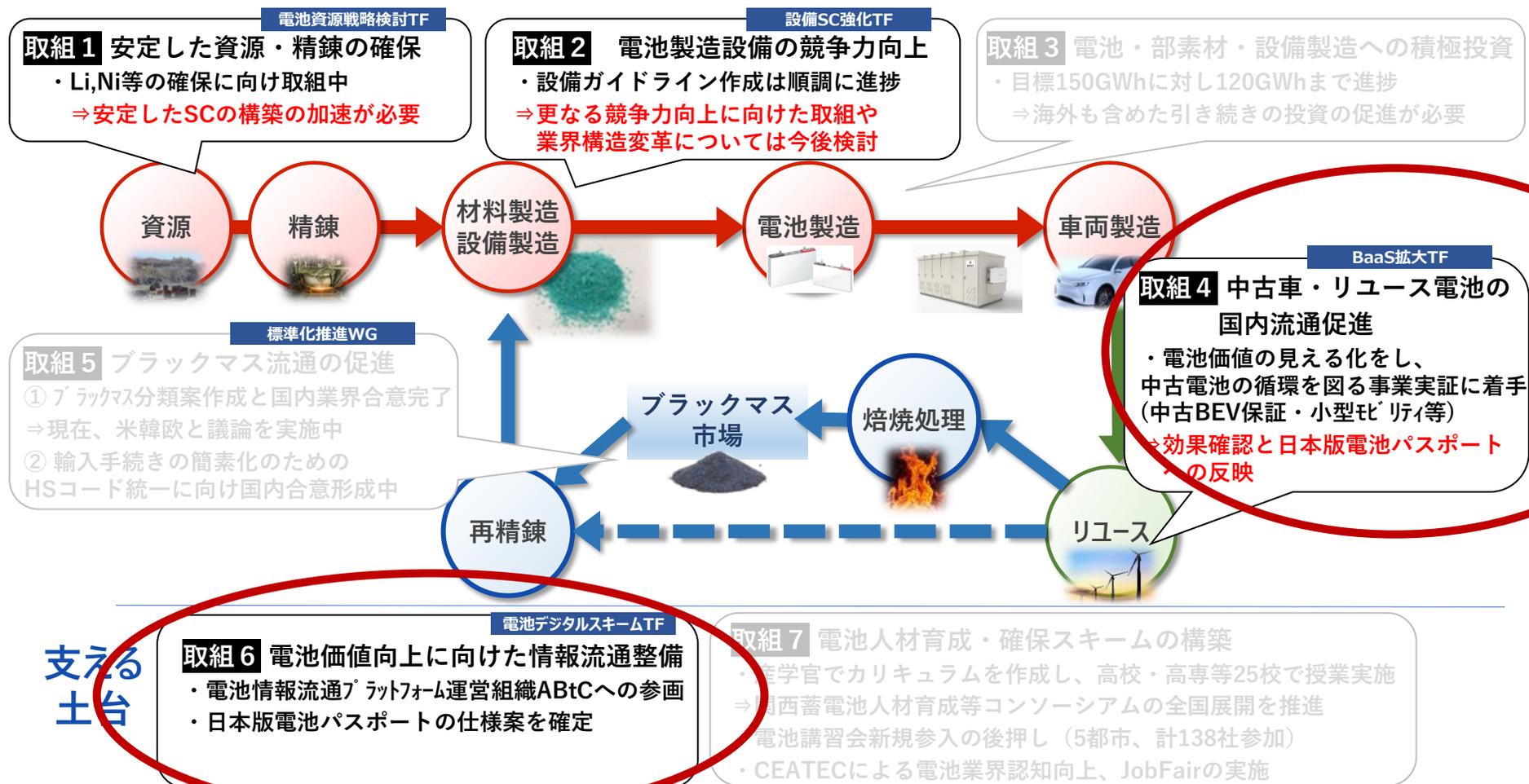


**Battery Association  
for Supply Chain**

# 日本版バッテリーパスポート

# 電池情報流通によるリユース・リサイクル促進、資源の国内還流

- 環境対応のEVの普及を後押しし、中古車の海外流出を抑制しつつ資源を国内還流させるためには、**電池価値の見える化・流通が必要**



# 中古BEVの電池性能保証の事業実証 (R6年度 経済産業省 補助事業)

## 実施内容



オークション会場(USS東京)

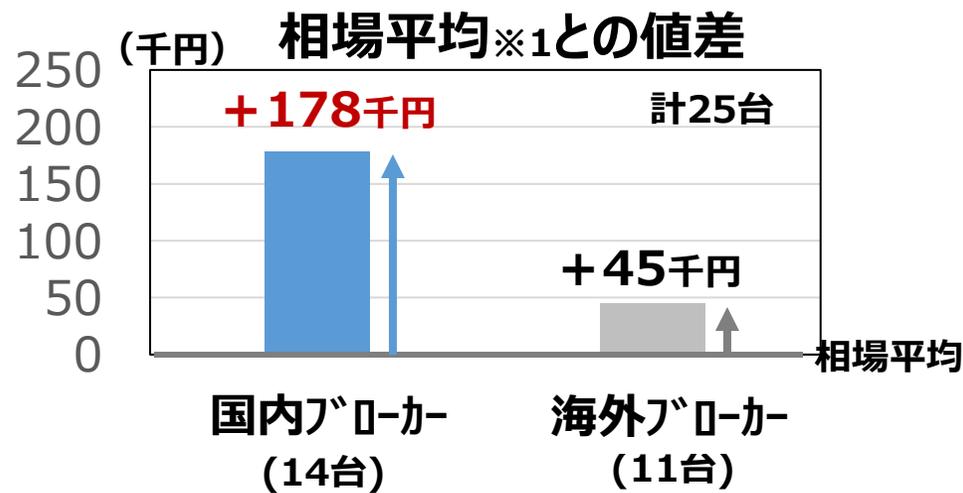
- ① オークション会場 (USS) にて中古リーフ25台を落札
- ② 1台ごとにOBDより手動で「SoH」などの情報を取得
- ③ 将来性能を予測し、保証対象可能かを見極め
- ④ 保証をつけて再出品 → 販売傾向を検証



OBD情報取得の風景 会場での掲示板上

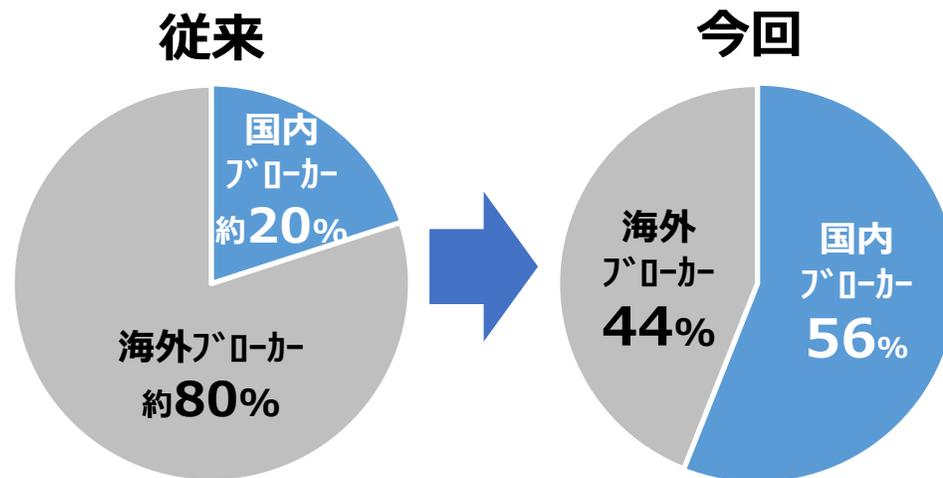
## 結果

### ① 売却金額の変化



保証付は約18万円 (約20%) 高い値付け

### ② 売却先の変化

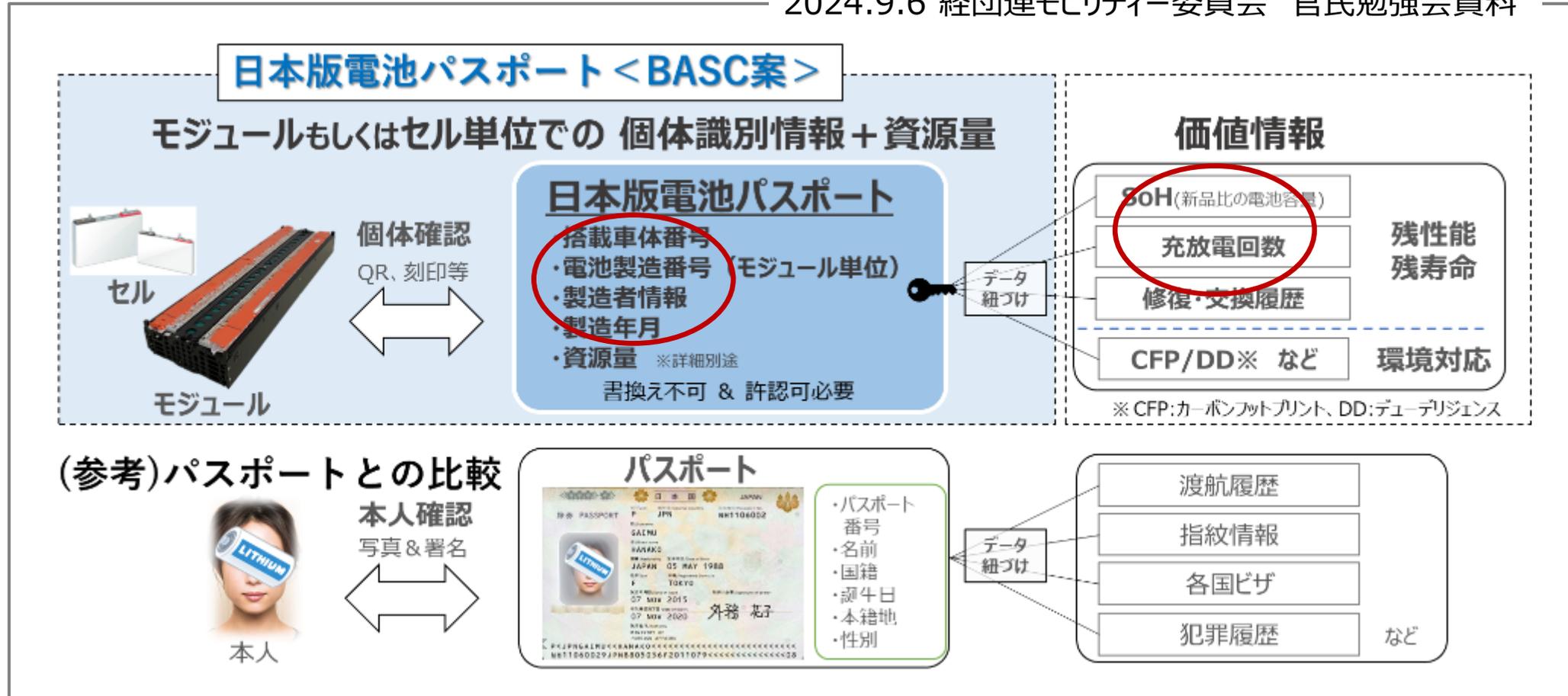


国内還流促進の効果あり

# 電池エコシステム内で流通が必要な電池情報

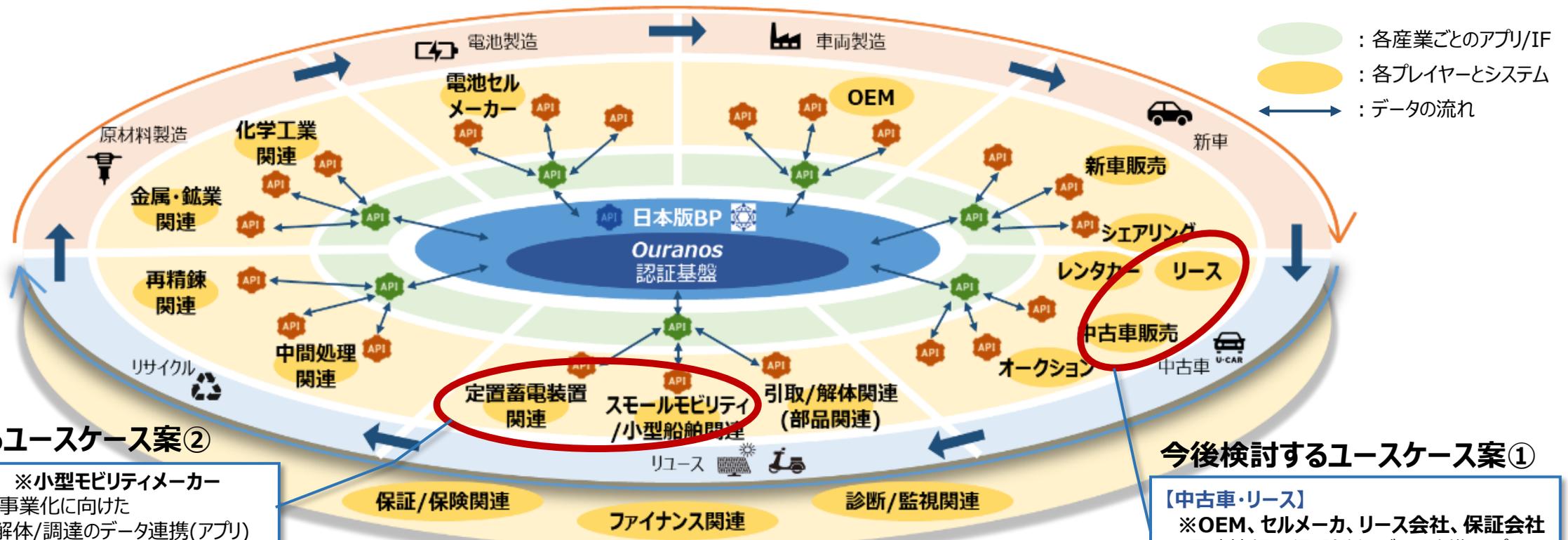
- 流通が必要な電池情報は**最低限共有すべき** **個体識別情報**と**各社が保持する** **価値情報**

2024.9.6 経団連モビリティ委員会 官民勉強会資料



# 電池パスポートの情報ネットワーク構築と 日本版電池パスポートのユースケースの検討

- ・情報ネットワーク構築によりスピーディ、工数低減した情報取得が可能に
- ・拡張性の高い柔軟なシステム構成を目指し、関連事業者間の連携を密に推進



**今後検討するユースケース②**

**【小型モビリティ】** ※小型モビリティメーカー  
 ・車載LiB転用事業化に向けた電池情報～解体/調達のデータ連携(アプリ)

**【定置蓄電装置】** ※商社等  
 ・車載LiB転用事業化の情報流通要件定義

**今後検討するユースケース①**

**【中古車・リース】**  
 ※OEM、セルメーカ、リース会社、保証会社  
 ・電池情報取得・診断のデータ連携(アプリ)  
 ・保証高度化 (BEVリース商品化)

将来の日本版電池パスポートのシステムイメージ図

# 參考資料

# ブラックマス流通加速に向けた取組み

- ・**進捗状況**：既存HSコード統一について日韓合意に向け議論中（25年3月目標）

HSコードにおける課題	要因
BM輸入時の有害物証明による 手間とコスト負担	<b>LiBブラックマス専用のHSコードがないため、 非有害物証明が必要となり輸入手続きが煩雑</b>
BMの流通実態が見えない	<b>HSコード使用ルールがない為、BMが複数HSコードで流通している</b>

## 【HSコードの対応方針案】

1. LiB BMを廃棄物から資源扱いにする
  2. LiB BMの中から特定**有害物（バーゼル法対象）**と区分できるようにする
  3. 今後流通量拡大が見込まれるLiB BM専用のHSコード新設を検討する
- ⇒ **HSコード新設に向けて日韓政府と連携が必要**

# 低コスト&低CO2 リサイクル技術開発

- 将来の競争力のある再精錬工場の国内立地を目指した**低コスト&低CO2 リサイクル技術技術開発が必要**

